



書閲覧室では、宮崎駿監督描き下ろしのしおりを6種販売しています。今年の夏、長編映画「君たちはどう生きるか」が公開された後、インコが描かれた「ヨムインコ」がよく手に取られるようになりました。映画よりもずっと以前に作ったのですが、映画にインコが登場するので注目を集めたようです。羽はピンク、青い鼻に黄色い口ばし、本を持つヨムインコが、図書室で静かなブームとなっています。

映画の上映が続く中、美術館では11月18日より新企画展示「君たちはどう生きるか」展が始まりました。第1部「イメージボード編」、第2部「レイアウト編」、第3部「背景美術編」の3部制で、映画の制作のために描かれた絵を半年ごとに入れ替え、1年半かけて展示していきます。イメージボードは作品のイメージを固めるためや、イメージが固まった後スタッフに作品世界を伝えるためのものです。展示している絵は56点、全て宮崎駿監督が描いています。壁に無数の絵を貼る常設展示室とは違い、企画展では1枚の絵として額装し、展示しています。1枚1枚をじっくりとご覧いただきたいと思います。



季刊トライホークス 2023年 | 73号

発行日……2023年12月1日 | 発行人……中島清文

発行所……徳間記念アニメーション文化財団
東京都三鷹市下連雀1-1-83 三鷹の森ジブリ美術館

編集……石光紀子 塚原瑞穂 | デザイン……川島弘世

印刷……図書印刷株式会社 | 非売品



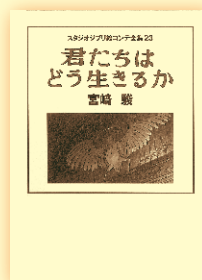
『君たちはどう生きるか』 関連書籍

映画「君たちはどう生きるか」の関連書籍2冊をご紹介します。

まずは『絵コンテ全集 23 君たちはどう生きるか』。宮崎駿監督の手描きカラー絵コンテ603枚を全収録しています。絵コンテは映画の設計図です。常設展示室の展示（絵コンテ「魔女の宅急便」）には、次のように書かれています。「映画がどんな物語なのか、どんな絵を描くのか、どんなセリフや音をつけるのかなどが書かれたものです。映画一本分に何百枚もの絵コンテを書きます。この絵コンテをもとに、いろんな人たちがいっしょになって映画をつくっていきます」。映画制作の全てがこの絵コンテから始まります。宮崎監督が表現したかったことが何か、

絵コンテを読むことでより理解できるのではないのでしょうか。付録の月報には現代美術家の村上隆さんの寄稿文が収録されています。

『THE ART OF 君たちはどう生きるか』は、イメージボード、レイアウト、設定画、背景美術など450点余りを収録しています。さらに、メインスタッフのインタビューも掲載されており、監督の思い描いた世界をどう描き、作り上げたのか、映画制作の一端に触れることができます。企画書や宮崎監督によるメインスタッフへの作品説明、アフレコ台本も収録。豊富な絵と資料で、映画をさらに味わうことができる一冊です。



スタジオジブリ絵コンテ全集23

君たちはどう生きるか

著者…宮崎 駿 徳間書店 4,840円



THE ART OF 君たちはどう生きるか

スタジオジブリ責任編集

徳間書店 4,620円



野沢佳織

Kaori Nozawa

夢中になって読んだ本

本を紹介していただいたのは翻訳家の野沢佳織さんです。野沢さんが翻訳家への道を進むきっかけとなった『弟の戦争』は、イギリスの作家ロバート・ウェストールの作品で図書室でも紹介しています。野沢さんが訳された『遠い日の呼び声』の表紙は、「ぼくはウェストールが好きだ」と語る宮崎駿監督が描いたもの。昔も今もこれからも、変わらず図書室でおすすめする一冊です。

* * * * *

小学1年生だった、ある寒い日の放課後。教室の机と椅子がぜんぶ後ろに寄せてあって、なんとなくその上にのぼったら、むこうに学級文庫の棚が見えた。少しぐらぐらする木の机の上をゆっくり進んでいくと、いちばん上の棚の『ピノキオ』に目がとまった。その本を抜き取り、机の上にぺたんとすわって読みだしたら、たちまち夢中になった。おじいさんが木で作った人形の男の子がしゃべりだし、次々にいたずらをしてくす。いったいどうなっちゃうんだろう？ あやしげなキツネとネコが登場したあたりで、「あらっ、まだいたの!!」と、担任の先生の驚いた声がした。本から顔を上げて見まわすと、教室にはもう、ほかの子はひとりもいなかった。

よちよち歩きのところから、家にはいろんな絵本があって、毎晩のように母が読み聞かせてくれたし、近くに住むやさしい叔父がプレゼントしてくれた美しい色刷りの『イソップのお話』『グリムの童話』も大好きだった。でも、自分で選んだ本に夢中になったのは、あの『ピノキオ』が最初だったように思う。

学級文庫は読書の楽しみを広げてくれた。母に連れていってもらった本屋さんで選ぶ本は似た傾向のもの（『あらしの白ばと』『孤児マリー』『愛のバイオリン』といった少女小説）になりがちだったが、学級文庫の本はバラエティに富んでいた。

おそらく、子どもたちが読み終えた本を寄付することで成り立っていたからだろう。なかでも忘れがたいのは、5、6年生のころに読んだ『子どもだけの町』だ。作者は、ドイツ生まれのヘンリー・ウィンターフェルト。舞台はティンペイルという小さな町。子どもたち（とくにオスカル率いる“海賊団”）のいたずらのひどさに腹を立てた大人が全員、町を出ていってしまい、5歳から13歳の子どもたちだけが残される（大人たちは乳幼児を連れて早朝に町を出て、夜にはもどってくるつもりだったが、予想外の事態に遭遇し、3日間も町を留守にすることになった）。子どもたちは初め、「わーい、自由だ!」とばかり、やりたい放題をする。商店からおもちゃやお菓子を持ち出し、広場で大さわぎをする。タバコを吸う子や、美容院でお化粧する子もいる。ところが、電気も水道も止められたことに気づき、夕方になっても大人たちがもどってこないのわかると、みんなあわてふためく。そこで立ち上がったのが、主人公の“教授”ことマンフレート、その親友でリーダーシップに富むトーマス、賢くて勇敢なマリアンネの3人だ。3人は、みごとな手腕で大勢の子どもたちをまとめ、各自に仕事を割り振る。食料を調達し、全員がレストランの〈金の角笛館〉で交代に食事をとれるようにする。電気と水道の供給を再開させ、なんと路面電車まで動かしてしまう。失敗もする

が、そのたびに知恵で切り抜ける。クライマックスは“海賊団”との対決、そして大人たちとの再会だ。

今読むと、「え、そんなにうまくいく?」と思うような場面もあるが、テンポのよい語り口に誘われ、わくわくしながら一気に読んでしまう。さし絵のペン画も美しく、楽しい。そして主人公たちの仕切り方が、やや強引なところもあるがフェアで民主的で、思いやりに裏打ちされている。この作品が、ドイツでナチ党が勢力を拡大していた1937年に発表されたことが驚きだ（作者のウィンターフェルトはユダヤ人で、1940年にアメリカに移住した）。

『子どもだけの町』に出会ったのとほぼ同時期に、『イソップのお話』をくれた叔父の新婚の奥さんから『赤毛のアン』を贈られて夢中になり、幾度となく読み返すことになるのだが、その話はまた別の機会に。主人公・アンへの愛と訳者・村岡花子さんへのリスペクトは言葉につくせぬものがあり、かつて新訳のお話をいただいたときも、悩んだ末に辞退してしまったほどだ。いつかゆっくり、原書と合わせて読み返したいと思っている。

原書といえば、1990年代に夫の海外赴任に同行してオーストリアのウィーンで暮らしていたとき、アメリカンインターナショナルスクールの図書室でボランティアをする機会に恵まれた。当時、

小学校中学年の子たちに一番人気があった作家はロアルド・ダールで、わたしも『チョコレート工場の秘密』などの原書を借りて楽しく読んだ。児童書専門の書評誌、“The Horn Book”等で新刊の情報もチェックするようになり、ロバート・ウェストールの『弟の戦争』の原書、“Gulf”と出会って衝撃を受けた。そしてウェストールの作品を読みあさり、「この人の本を訳したい!」と強く思って、翻訳家への道を歩み始めた。今回、『子どもだけの町』について調べていたら、ウィンターフェルトはこのデビュー作を、猩紅熱で病床にあった息子のために書いたのだとわかった。ウェストールも、デビュー作の『機関銃要塞の子どもたち』を息子のために書いている。どちらの作品も、子どもの目線で子どもだけの世界を生き生きと描いていて、色あせない魅力がある。

のざわ かおり

1961年、東京都生まれ。上智大学英文学科卒業。翻訳家。訳書に『禁じられた約束』『ロス、きみを送る旅』『ソングの見た星』（以上、徳間書店）、『モノクロの街の夜明けに』（岩波書店）、『秘密の花園』（西村書店）、『キルケ』（作品社）、『林檎の木から、遠くはなれて』（柏書房）などがある。

トライ ジェイミーが
ホークス 消えた庭
の本 作…キース・グレイ
訳…野沢佳織
徳間書店 1,540円



[..... 夢中になって読んだ本]



①

① 子どもだけの町
作…ウィンターフェルト 訳…大塚勇三 学習研究社 絶版



②

② 赤毛のアン*
著…モンゴメリ 訳…村岡花子 新潮文庫 825円



③

③ 弟の戦争*
作…ロバート・ウェストール 訳…原田 勝 徳間書店 1,320円

◆ ピノッキオのぼうけん*
作…C・コルローディ 訳…安藤美紀夫 福音館書店 2,310円

◆ 星からきた少女
作…ヘンリー=ウィンターフェルト 訳…関 楠生 学習研究社 絶版

◆ 笑いを売った少年*
著…ジェイムス・クリュス 訳…森川弘子 未知谷 2,750円

◆ あらしの前・あらしのあと
作…ドラ・ド・ヨンク 訳…吉野源三郎 岩波少年文庫
◇『あらしの前』重版未定 ◇『あらしのあと』748円

◆ 教室二〇五号*
作…大石 真 実業之日本社 絶版

◆ 時をかける少女(新装版)*
著…筒井康隆 イラスト…貞本義行 角川文庫 484円

◆ 時をさまようタック
作…ナタリー・バビット 訳…小野和子 評論社 1,650円

*印の本は、野沢さんが選んだタイトルをもとに編集が選ばれました。

本棚より

トライホークスに置かれているおすすめの本を紹介していきます。
トライホークスの本棚の中の一冊から、みなさんの本棚の一冊にしていだけたら嬉しいです。

ごんぎつね

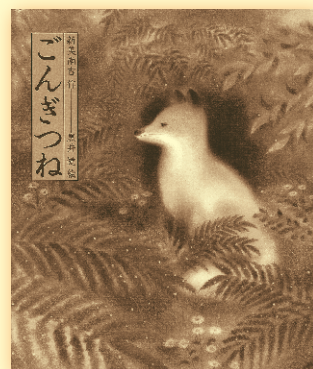
ひ とりぼっちの小狐ごんは、大変ないたずら者。ある日、兵十が病気の母親のためにとったうなぎを奪ってしまいます。後悔したごんはせめてもの償いにと、栗や松茸をこっそり兵十に届けますが、その思いは兵十に届きません。

多くの人に親しまれている本作は、様々な絵本が出版されています。その中でも今回は、私の一番のお気に入りの、黒井健さんが絵を手掛けた絵本を紹介します。

黒井さんが描く狐は、気持ちよさそうな毛並みを持ち、鼻先がツツと尖っていて、つぶらな瞳をしています。小さい頃初めて黒井さんの狐の絵を目にした時、そのいじらしさと可愛らしさに一気に心を掴まれました。また最近になって、黒井さんの描く風景にも心惹かれるようになりました。秋の草原からは草木のさざめきや虫たちの鳴き声が聞こえてくるようですし、一面の彼岸花の中をポツンと進む葬列には、ハッと息を呑むような美しさや寂しさがあります。

黒井さんの絵の魅力は、輪郭線のない柔らかなタッチ。色鉛筆の粉を油彩の筆洗液で溶かし、指先に巻きつけた布でポンポンと色をのせていきます。こういった手間のかかる地道な作業を経て、透明感がありながら奥行と広がりを持った画面が作られるのです。『ごんぎつね』制作当時、絵本を作ることに自信を失っていたという黒井さんは、新美南吉の故郷で取材を重ね、悩みながら1枚1枚描いていったそうです。『ごんぎつね』は、黒井さんの作風を確立する上で転機となる作品でした。

柔和でありながら描かれているものに確かな存在感がある黒井さんの絵は、新美南吉の綴った物悲しくも美しい文章に、より一層深みを与えてくれます。だからこそ私にとって、小さい頃も大人になってからも、何度でも手に取りたくなる絵本です。

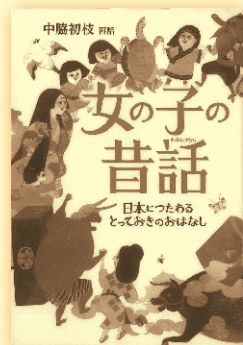


ごんぎつね

作…新美南吉
絵…黒井 健
偕成社 1,540円

日本の昔話より

花をぬすんだ神さま



女の子の昔話
日本につたわる
とおきのおはなし
再話…中脇初枝
偕成社 1,320円

む かしむかし、姉神さまと妹神さまがいました。姉神さまも妹神さまも座るところが決まっていなかったので、蔵王山と月山にどちらが座るかでけんかになってしまいました。2人ともごつごつした蔵王山に座るのを嫌がったからです。いくらけんかをしてもきりがないので、2人でれんげのつぼみを持って眠り、先に花がひらいた方が月山に座ることに決めました。しばらくして、妹神さまが目を開けてみると、自分のれんげはつぼみのままなのに、姉神さまのれんげは花が開いていました。妹神さまは自分のれんげと姉神さまのれんげをそと取り替えました。あくる朝、姉神さまのれんげはまだつぼみのままでしたが、妹神さまのれんげは開いていたので、妹神さまが月山に座り、姉神さまが蔵王山に座ることになりました。それから後、蔵王山には一度でも悪いことをした人は登ることはできませんが、月山には悪いことをした人でも登ることができるということです。

山形県にある蔵王山、月山が登場する昔話です。昔話には、心優しい働きものだけでなく、ほらふき、大力、そして、このお話の妹神さまのように、ちょっとずるい、わるがしこい者も登場します。働きものが報われることも大事ですが、わる知恵も知恵として、生きていくには必要な能力であることが、語り継がれた昔話に込められているとのこと。